

剣道

競技要項

- 1 日 時 令和 4年 7月 2日（土） 9時00分開始
3日（日） 9時00分開始
- 2 会 場 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター メインアリーナ
- 3 競技規則 ①（一財）全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに同細則による。
②竹刀については、次のとおり定める。
　男子の竹刀は、4年生以上は、長さ120cm以下、重さは510g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは480g以上とする。先革については、長さは5cm以上、太さは26mm以上とする。また、ちくとう部直径は21mm以上とする。
　女子の竹刀は、4年生以上は、長さ120cm以下、重さは440g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは420g以上とする。先革については、長さは5cm以上、太さは25mm以上とする。また、ちくとう部直径は20mm以上とする。
- 4 参加人員 男子 ①団体戦 1校1チーム（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内【試合出場5名】）10名以内。
②個人戦 選手8名以内
女子 ①団体戦 1校1チーム（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内【試合出場3名】）8名以内。
②個人戦 選手3名以内
- 5 競技方法 男子 ①団体戦
(ア) リーグ方式による
(イ) 試合は5名による勝者数法とし、オーダーは各試合毎に組み替えることができる。
(ウ) 試合時間は4分とする。
(エ) 勝敗の決定は次のように行う。
a) 試合は3本勝負とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。
b) チームの勝敗は、勝者数の多い方を勝ちとする。ただし、勝者数が同数のときは、総本数の多い方を勝ちとする。総本数も同数の場合は引き分けとする。
c) リーグ戦の順位の決定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点として点数の多いチームを上位とする。
　ただし、同点数の場合は勝者数の多いチームを、勝者数も同数の場合は総本数の多いチームを上位とする。さらに順位が決定しない場合は、代表者戦を行う。代表者戦が三つ巴戦になった場合は、代表者は同一選手とする。
　代表者戦は任意の選手により、1本勝負とする。ただし、延長戦は3分ずつ区切り、勝敗の決するまで行う。延長2回ごとに、水分補給を含めた休憩を入れる。【3分×2 休息2分 3分×2 給水】繰り返し。
(オ) オーダー表の提出は、各試合毎に行い、前試合中堅戦終了まで又は前試合終了後、直ちに提出する。
②個人戦
(ア) トーナメント方式による。
(イ) 試合時間は4分とする。
(ウ) 勝敗の決定は、団体戦に準ずるものとする。ただし、延長戦は3分ずつ区切り、勝敗の決するまで行う。延長2回ごとに、水分補給を含めた休憩を入れる。【3分×2 休息2分 3分×2 給水】繰り返し。
(エ) 前年度4位までをシードする。
(オ) 個人戦の選手登録は強者順とする。その場合、強者順1~4位の選手は準決勝までの対戦がないようにし、かつ1・2位の選手は決勝戦までの対戦がないようにする。

ただし、こうした措置が(エ)の規定と矛盾する場合、(エ)の規定を優先的に扱う。

女子 ①団体戦 男子団体戦に準ずる。

(ア) トーナメント方式による。前年度 2 位までをシードする。ただし、出場校が 4 校以内の場合は、リーグ方式に切り替える。

(イ) 試合は 3 名による勝者数法とし、オーダーは試合ごとに組み替えることができる。

ただし、2 名の場合は、先鋒・大将に選手を置く。

(ウ) 試合は 3 本勝負とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は 2 分とする。勝敗が決しない場合は引き分けとする。なお、学校の勝敗が決した場合、延長戦は行わない。

②個人戦 男子個人戦に準ずる。

(ア) トーナメント方式による。

6 個人情報の取扱い ①個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通して競技開催校事務局に申し出ること。事前に申し出のない場合は、公表する。

②「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用しない。

競 技 役 員

審判長 福江 國芳

審判主任 磯崎 秀明 宮川 誠

審判員 井堀 彪 加藤 一志 叶山 雅隆 國廣 祥 黒瀬 和久 坂本 忠士
立川 泰士 谷岡 薫 鶴端 大輔 鶴端 信夫 藤井 正彦 松本 宣昭
(五十音順)

補助員 周南公立大学剣道部 徳山工業高等専門学校剣道部員